

4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

【政策目標】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことを通じて、スポーツの価値の一層の向上を目指す。

②ドーピング防止活動の推進

[施策目標]

フェアプレーに徹するアスリートを護り、スポーツ競技大会における公正性を確保するため、また、我が国で開催するラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとするスポーツ競技大会をドーピングのないクリーンな大会にするために、ドーピング防止活動を**質と量の両面から強化**する。

【質的強化】

1. 教育研修の拡充（アスリート、指導者、医師、歯科医師、薬剤師等）
2. 学校教育におけるアンチ・ドーピングの導入と拡充
3. 新しい検査技術の開発
4. 公的機関との情報共有体制の構築
5. 分析によらない違反の摘発体制の構築
6. 国際的なプレゼンス向上、主導的立場の確立、人材交流

【量的強化】

1. ドーピング検査員の育成・強化
2. ドーピング分析技術者の育成・強化
3. 血液検体採取の拡充
4. 国際（アジア地域等）的なアンチ・ドーピング人材育成

【アンチ・ドーピング活動がもたらすもの】

- 1) RWC2019、TOKYO2020及び全ての競技大会に参加するアスリートへの信頼の提供
- 2) RWC2019、TOKYO2020及び全ての競技大会に対する社会的評価の保護・向上
- 3) スポーツのさらなる発展と普及を支え、感動と誇りと活力にあふれたより良い社会の実現

RWC2019、TOKYO2020大会は、スポーツを通じた社会変革・振興の起爆剤。

社会への影響力、発信力、共感を呼ぶためには、スポーツが健全であり、その感動が真実のものであることが必要。

そして、その価値が人々によって正しく評価され、伝播される環境が必要。

アンチ・ドーピング活動は、スポーツの全ての価値【①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、

③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創る】の基盤となる。